

関係者各位

房総の祭りシリーズ特別編

およそ800年にわたり受け継がれる伝統の舞い



ダイードリンコスPECIAL むしょう 虫生の里に鬼が舞う ぎらいごう ～地獄劇の鬼来迎～



千葉テレビ放送株式会社(本社:千葉県千葉市、代表取締役社長:上田誠也、以下チバテレ)では、「房総の祭りシリーズ」と題して、夏から秋にかけて千葉県各地で開催される祭りを取材し放送しています。9月16日には、およそ800年にわたり受け継がれてきた地獄劇「広済寺の鬼来迎」を房総の祭り特別編として放送します。詳細は下記の通りです。

【番組タイトル】ダイードリンコスPECIAL

虫生の里に鬼が舞う～地獄劇の鬼来迎～

【放送日時】9月16日(土) 20:30～21:25

【番組概要】千葉県山武郡横芝光町。九十九里の浜から細長く内陸に伸びる小さな町。このありふれた一地方に、全国でも唯一という極めて特異な行事「広済寺の鬼来迎」があります。それは「虫生」という名の里で、およそ800年に渡り受け継がれてきた地獄劇。8月16日、寺の中庭で地獄をめぐる因果心報の伝承劇が繰りひろげられます。演ずる役者は、全て虫生の人々。僅か20数軒しかない虫生の里で、代を受け継ぎ芝居を演じ続け、鬼来迎を保存してきました。番組では、半年以上に及んだ取材や直前の舞台稽古、さらに8月16日の本番の様子を通して、鬼来迎の全貌を描きます。そして、伝承を守り続けてきた虫生の人々の思いも織り込みます。

「鬼来迎」とは・・・

地獄を描いて仏の尊さを伝える、全国で唯一無二の古典的地獄劇です。鎌倉時代に始まったと言われ、仏教布教のため、仏教を信仰しないと地獄に落ちて苦しむことを、劇によって分かりやすく説いたもので、国指定重要無形民俗文化財として受け継がれています。



制作担当者 小森健一郎コメント

毎年8月16日に千葉県横芝光町の「虫生」地区で行われる地獄劇「鬼来迎」。仏教の布教手段として、地獄劇は中世では全国的に行われていましたが、現代ではここでしか行われていない国指定重要無形民俗文化財です。しかし、この祭りも例外なく「継承」という問題を抱えています。この「虫生」地区でも次々と失われていく民俗・風習。そんな中、この地区をつなげるものとして残っているものがこの「鬼来迎」です。番組では文化財としての地獄劇「鬼来迎」と、それを取り巻く人間模様、さらにこの地区の「継承」の形をお伝えします。

※放送日時・内容は変更になる場合があります。